

愛知医科大学学報



こも 薦神社の三角池にて (大分県中津市)
みすみ (写真提供 解剖学講座 中野隆教授)

＝ 第159号 ＝
2020. 7月

愛知県長久手市岩作雁又1番地1
〒480-1195

学校法人 愛知医科大学

愛知医科大学ホームページアドレス
www.aichi-med-u.ac.jp

■ 主な目次 ■

| | |
|-----------------------|----|
| 令和3年度学生募集概要…………… | 2 |
| 令和元年度愛知医科大学決算…………… | 5 |
| 新型コロナウイルス感染症への対応…………… | 8 |
| 教授就任インタビュー…………… | 19 |
| 看護学部キャンドルセレモニー挙行…………… | 22 |
| 大学病院 ～新センターのご紹介～ …… | 24 |
| Smile ～スマイル～ …… | 33 |
| 教育・研究最前線…………… | 34 |

令和3年度医学部医学科学生募集概要

医学部医学科の入試日程等は次のとおりです。

| ◆入試日程 | | | | | | |
|--------------------------------|--------|----------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------|------|
| 区 分 | 募集人数 | 出願期間 | 試験日 | 試験会場 | 合格発表日 | |
| 学校推薦型選抜（公募制） | 約20名※1 | 11/2～11/13 [消印有効] | 11/28 | 本 学 | 12/10 | |
| 学校推薦型選抜 （愛知県地域特別枠A方式） | 約5名※2 | | | | | |
| 国際バカロレア選抜 | 若干名 | | | | | |
| 一般選抜 | 約65名 | 12/7～1/7 [消印有効] | 第1次試験 1/19 | 名古屋，東京 大阪，福岡 | 1/25 | |
| | | | 第2次試験 1/28・29 （いずれか希望する日） | 本 学 | 2/4 | |
| 大学入試共通テスト 利用選抜 | 前期 | 約15名 | 12/7～1/15 [消印有効] | 第1次試験 1/16・17 大学入学共通テスト試験日 | 大学入学共通テスト 試験会場 | 2/10 |
| | | | | 第2次試験 2/16 | 本 学 | 2/22 |
| | 後期 | 約5名 | 12/7～2/22 [消印有効] | 第1次試験 1/16・17 大学入学共通テスト試験日 | 大学入学共通テスト 試験会場 | 3/1 |
| | | | | 第2次試験 3/5 | 本 学 | 3/11 |
| 大学入学共通テスト利用選抜 （愛知県地域特別枠B方式） | 約5名※2 | 2/12～2/22 [消印有効] | 第1次試験 1/16・17 大学入学共通テスト試験日 | 大学入学共通テスト 試験会場 | 3/1 | |
| | | | 第2次試験 3/5 | 本 学 | 3/11 | |

※1 国際バカロレア選抜若干名を含む。

※2 愛知県地域特別枠はA方式・B方式合わせて10名を選抜。

| ◆入試科目・配点・時間 | | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------|--|--|-----------------|--------------------------|--|
| 区 分 | 出題教科 | 選考方法及び出題科目 | 配 点 | 時 間 | | |
| 学校推薦型選抜（公募制） （愛知県地域特別枠A方式） | 小論文 | | 5段階評価 | 60分 | | |
| | 基礎学力試験 （数学） | 『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列・ベクトル）』 ※1 | 100点 | 60分 | | |
| | 基礎学力試験 （外国語） | 『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ』 | 100点 | 60分 | | |
| | 面接（個人面接） | | 5段階評価 | — | | |
| 国際バカロレア選抜 | 書類選考・適性検査・面接（個人面接） | | | | | |
| 一般選抜 | 第1次試験 | 理 科 | 『物理基礎・物理（「原子」を除く。）』、『化学基礎・化学 （「合成高分子化合物」を除く。）』、『生物基礎・生物（「生 態と環境」を除く。）』の3科目のうち2科目選択※2 | 200点 （各100点） | 100分 | |
| | | 数 学 | 『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列・ ベクトル）』 | 150点 | 80分 | |
| | | 外国語 | 『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ』 | 150点 | 80分 | |
| | 第2次試験 | 小論文 | | 5段階評価 | 60分 | |
| | | 面接（個人面接） | | 5段階評価 | — | |
| 大学入学 共通テスト 利用選抜 （前期） | 第1次試験 （大学入学共通テスト） | 国 語 | 『国語』（近代以降の文章のみ利用） | 100点 | 大学入学 共通テスト 実施日程どおり | |
| | | 数 学 | 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』 | 200点 （各100点） | | |
| | | 理 科 | 『物理』、『化学』、『生物』の3科目のうち 2科目を選択 | 200点 （各100点） | | |
| | | 外国語 | 『英語（リーディング・リスニング）』※3 | 200点 | | |
| | 第2次試験 | 面接（個人面接） | | 5段階評価 | — | |
| 大学入学 共通テスト 利用選抜 （後期） | 第1次試験 （大学入学共通テスト） | 国 語 | 『国語』（近代以降の文章、古典〔古文・漢文〕） | 200点 | 大学入学 共通テスト 実施日程どおり | |
| | | 数 学 | 『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』 | 200点 （各100点） | | |
| | | 理 科 | 『物理』『化学』『生物』の3科目のうち1科目選択 ※但し2科目受験した場合は高得点の1科目を利用 | 100点 | | |
| | | 地歴公民 | 『全科目』のうち1科目選択 ※但し2科目受験した場合は高得点の1科目を利用 | 100点 | | |
| | 外国語 | 『英語（リーディング・リスニング）』※3 | 200点 | | | |
| 第2次試験 | 面接（個人面接） | | 5段階評価 | — | | |
| 大学入学共通テスト利用選抜 （愛知県地域特別枠B方式） | 試験内容は大学入学共通テスト利用選抜（前期）と同様 | | | | | |

※1 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、学業の遅れに配慮する観点から、特例措置として、数学の出題範囲から「数学Ⅲ」を除きます。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、学業の遅れに配慮する観点から、特例措置として、理科（物理・化学・生物）の出題範囲を配慮します（下線部）。

※3 「英語」はリーディング100点を160点に、リスニング100点を40点に換算します。

令和3年度看護学部看護学科学生募集概要

看護学部看護学科の入試日程等は次のとおりです。

| ◆入試日程 | | | | | | |
|-----------------------|------|------|-----------------------|-------------------------|-------------------|-------|
| 区 分 | | 募集人数 | 出願期間 | 試験日 | 試験会場 | 合格発表日 |
| 学校推薦型選抜 | 指定校制 | 約15名 | 10/19～10/30 [消印有効] | 11/14 | 本 学 | 11/25 |
| | 公募制 | 約15名 | | | | |
| 社会人等特別選抜 | | 5名 | | | | |
| 一般選抜 | | 50名 | 12/21～1/12 [消印有効] | 1/24 | | 2/3 |
| 大学入学 共通テスト 利用選抜 | A方式 | 10名 | 12/21～1/15 [消印有効] | 1/16・17 大学入学共通テスト試験日 | 大学入学共通テスト 受験会場 | 2/17 |
| | B方式 | 5名 | | | | |

| ◆入試科目・配点・時間 | | | | | |
|-----------------------|------|-------------|--|------|--------------------------|
| 区 分 | | 出題教科 | 選考方法及び出題科目 | 配 点 | 時 間 |
| 学校推薦型選抜 | 指定校制 | 面接 | | — | — |
| | 公募制 | 国語 | 〔国語総合（古文・漢文を除く。）・現代文B〕 | 100点 | 45分 |
| | | 数学 | 〔数学Ⅰ・数学A〕※1 | 100点 | 45分 |
| | | 外国語 | 〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ〕 | 100点 | 45分 |
| | | 面接 | | — | — |
| 社会人等特別選抜 | | 小論文 | | — | 60分 |
| | | 面接 | | — | — |
| 一般選抜 | | 国語・数学 | 〔国語総合（古文・漢文を除く。）・現代文B〕, 〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A〕から1科目を選択※1※2 | 100点 | 60分 |
| | | 理 科 | 〔物理基礎〕,〔化学基礎〕,〔生物基礎〕から1科目を選択 | 70点 | 45分 |
| | | 外国語 | 〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ〕 | 100点 | 60分 |
| 大学入学 共通テスト 利用選抜 | A方式 | 国語・数学 | 〔国語（近代以降の文章）〕, 〔数学Ⅰ・数学A〕,〔数学Ⅱ・数学B〕から1科目を選択 | 100点 | 大学入学 共通テスト 実施日程どおり |
| | | 理 科 | ①〔物理基礎〕,〔化学基礎〕,〔生物基礎〕,〔地学基礎〕 ②〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕,〔地学〕 ①から2科目または②から1科目を選択 | 100点 | |
| | | 外国語 | 〔英語（リーディング・リスニング）〕※3 | 100点 | |
| | B方式 | 国 語 | 〔国語（近代以降の文章）〕 | 100点 | |
| | | 数 学 | 〔数学Ⅰ・数学A〕,〔数学Ⅱ・数学B〕 から1科目を選択 | 100点 | |
| | | 地理歴史・ 公民 | 〔世界史B〕,〔日本史B〕,〔地理B〕,〔現代社会〕, 〔倫理〕,〔政治・経済〕,〔倫理,政治・経済〕 から1科目を選択 | 100点 | |
| | | 理 科 | ①〔物理基礎〕,〔化学基礎〕,〔生物基礎〕,〔地学基礎〕 ②〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕,〔地学〕 ①から2科目または②から1科目を選択 | 100点 | |
| | | 外国語 | 〔英語（リーディング・リスニング）〕※3 | 100点 | |

※1 数学Aの出題範囲は「場合の数と確率」及び「図形の性質」とする。

※2 数学Ⅱの「微分・積分の考え」は出題範囲から除く。

※3 外国語の配点は200点を100点に換算する。

令和3年度大学院医学研究科（博士課程）学生募集概要

大学院医学研究科（博士課程）の入試日程等は次のとおりです。

1 募集人員

- ・基礎医学系 13名
- ・臨床医学系 17名

2 入試日程

【第1次募集】

出願期間：令和2年8月4日（火）から
令和2年8月18日（火）まで（必着）
試験日：令和2年10月2日（金）
試験場：大学本館
合格発表：令和2年10月28日（水）

【第2次募集】

注：第1次募集により定員に満たない場合のみ実施
出願期間：令和2年12月1日（火）から
令和2年12月15日（火）まで（必着）
試験日：令和3年2月5日（金）
試験場：大学本館
合格発表：令和3年2月24日（水）

3 試験項目・時間

| 試験項目 | 時間 |
|---|-----------------|
| 外国語（英語） 〔辞書使用可，電子辞書不可〕 ※外国人志願者の外国語試験は，英語一か国語のみによる試験又は英語及び日本語の二か国語による試験のいずれかを選択する。 | 10：00 ～12：00 |
| 面接試験 （志望する専攻分野に関連する専門試験を含む。） | 13：00～ |

令和3年度大学院看護学研究科（修士課程）学生募集概要

大学院看護学研究科（修士課程）の入試日程等は次のとおりです。

1 募集人員

15名

2 教育研究分野

| 教育研究分野 | 専攻領域 | コース |
|-------------|---------|-------------------------|
| 基礎看護学 | 看護管理学 | 修士論文 |
| 母子看護学 | 母性看護学 | |
| 成人・老年看護学 | 慢性看護学 | |
| 精神・在宅・地域看護学 | 精神看護学 | |
| | 在宅看護学 | |
| 高度実践看護学 | 地域看護学 | 高度実践看護師 （専門看護師〔CNS〕） |
| | 感染看護学 | |
| | 臨床実践看護学 | 高度実践看護師 （診療看護師〔NP〕） |

3 入試日程

【第1次募集】

出願期間：令和2年8月7日（金）から
令和2年8月21日（金）まで（消印有効）
試験日：令和2年9月2日（水）
試験場：看護学部棟内講義室
合格発表：令和2年9月9日（水）

【第2次募集】

注：第1次募集により定員に満たない場合のみ実施
出願期間：令和3年1月5日（火）から
令和3年1月18日（月）まで（消印有効）
試験日：令和3年2月4日（木）
試験場：看護学部棟内講義室
合格発表：令和3年2月10日（水）

4 試験科目・時間

| 試験時間 | 試験科目等 |
|-------------|---------|
| 9：00～10：30 | 小論文 |
| 10：45～12：15 | 専門科目（※） |
| 13：15～ | 面接 |

※ 専門科目の出題について

- 1 修士論文コース：志願する専攻領域
- 2 高度実践看護師（専門看護師〔CNS〕）コース：CNS関連分野
- 3 高度実践看護師（診療看護師〔NP〕）コース：関連領域の病態生理学

令和元年度愛知医科大学決算

令和2年5月25日（月）に開催された理事会及び評議員会において、令和元年度決算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

■概要

令和元年5月1日、浩宮徳仁親王が即位（第126代天皇）され、新元号「令和」となりました。鮮明に残る出来事として、日本で初めて開催されたラグビーワールドカップにおいて、日本代表は強豪アイルランドに逆転勝利するなど4連勝で1次リーグを突破、初の8強に進出し、日本列島を熱狂させました。スローガンの「ONE TEAM」は令和元年の新語・流行語大賞にも選ばれました。経済においては、消費税率が10月1日に8%から10%へと引き上げられ、同時に、低所得者の負担を和らげるため酒類を除く飲食料品などの税率を8%に据え置く「軽減税率制度」も導入されました。そして、11月に中華人民共和国湖北省武漢市で最初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中に感染が拡がり、大きな影響をもたらしています。

「令和」新時代に相応しく、本学の事業活動収支差額は、黒字決算となりました。これは、文部科学省が新しく示した指標である経常収支差額においても同様に、黒字となりました。本学のこれまでの収支状況は、新病院建設を柱としたキャンパス再整備、最高水準の医療機器等整備及び電子カルテシステム導入等の投資を一気に行った結果、①減価償却額が開院直後はどうしても多額となり、また、②旧病院棟の取り壊しに伴う、解体工事費及び資産処分も会計ルール上医療経費にカウントされることで、会計上の支出額が膨らんだこと、③キャンパス再整備に伴う消耗品、修繕費等の消費的経費が避けられなかったことがあり、④一方で、整備に伴って寄付金収入があり、助かった面はありましたが、経常収支差額としては、マイナスの結果となっていました。

しかしながら、平成28年度以降毎年、約6億円、約9億円ずつ改善し、平成30年度からは実に約12億円の改善となり、令和元年度には、プラス約4億円を計上することができました。本学の収入の大宗を占める医療収入が、前年度対比12か月連続プラス計上、過去最高の約375億円を計上できたことが、消費税等の逆風を乗り越え、この成果に結実したことは言うまでもありません。病院長を始めとした全教職員に改めて感謝する次第です。

ある意味、本当のスタート地点に立った本学は、ラグビー日本代表同様、知的なゲームプランを最大限に活かし、素早い規律のあるプレーの継続によって更なる発展を目指さなければなりません。これからの経営改善について、テナティブな中期計画から実行性のある新中期計画及び新財政計画として策定、部署ごとに、重点施策、アクションプラン、数値目標等を落とし込んでいくことが必須となります。本当の勝負はこれからです。

■前年度との比較（主な増減）

(1) 事業活動収支計算書

収入・・・事業活動収入は466億円で、前年対比30億7,000万円の増収となりました。寄付金収入が4億3,500万円増加したこと、医療収入は診療単価及び患者数の増加などにより28億1,600万円の増収となっています。

支出・・・事業活動支出は462億円で、前年対比18億1,900万円の増加となりました。主な内訳としては、人件費が2億8,100万円の増加、教育研究経費が15億200万円の増加、管理経費が7,100万円の増加です。

(2) 資金収支計算書

資金収入の部合計は、527億円で前年対比39億9,000万円の増加となっていますが、調整勘定等を除く実質的な収入は約30億700万円の増収、同様に実質的な資金支出の部合計は、29億8,200万円の増加となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は前年比18億円（2.9%）減少の603億円となりました。また、純資産額は前年比4億円（1.4%）増加の290億円となりました。

■最後に

令和元年度は、7年ぶりとなる4億円の経常収支黒字を達成し、正しく「黒字元年」となりました。これを土台として令和の時代に一層の飛躍を目指そうとした所ではありますが、時あたかも、新型コロナウイルスの感染が拡大し、生命の維持という根源的な問題に止まらず、政治経済・金融証券・原油市場等の動揺は世界規模となっており、新型コロナショック対策として各国政府の採った渡航の制限や学校の閉鎖は、世界景気の悪化懸念に結び付き、日本においても非常事態宣言の発令前から民間企業は、時差出勤、在宅勤務、出張や会合を取りやめWebにする等、リモート化に動いています。結果として医療崩壊は免れているものの、経済や社会活動が停滞し、相当のダメージを被る情勢です。

新型コロナウイルスの正体は未だ掴みきれず、ワクチンの開発は進んできているものの、未だ実用化には至っておらず、的確な予防方法も治療薬も開発されていない現状です。そうした中であっても、学生、教職員を始めとして全ての愛知医科大学関係者がこの困難を乗り越え、大学病院としての使命を全うしていかねばなりません。それには、患者さんや関連する病院等の期待に応え、地域、社会に貢献できる経営に力を尽くすことが必要になるところです。職員一人ひとりが教育、診療、研究の実践を通

じて社会の信頼を得て尊重される人間に成長する、本学職員の一致団結、オール愛知医科大学となるとき、それは「今」だと確信するものです。

なお、詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0105/index.html>

事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：百万円)

| | | 科 目 | 金 額 | 前年差 |
|----------|----------|---------------|---------|--------|
| 教育活動収入の部 | 事業活動収入 | 学生生徒等納付金 | 5,059 | 6 |
| | | 手数料 | 234 | △5 |
| | | 寄付金 | 822 | 435 |
| | | 経常費等補助金 | 1,732 | △229 |
| | | 付随事業収入 | 513 | 14 |
| | | 医療収入 | 37,451 | 2,816 |
| | | 雑収入 | 694 | 70 |
| | | 教育活動収入計 | 46,504 | 3,107 |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 | 18,877 | 281 |
| | | 教育研究経費 | 26,088 | 1,502 |
| 管理経費 | | 863 | 71 | |
| 徴収不能額等 | | 19 | △0 | |
| | | 教育活動支出計 | 45,847 | 1,854 |
| | | 教育活動収支差額 | 658 | 1,252 |
| 教育活動外収支 | 収入の活動 | 受取利息・配当金 | 5 | 4 |
| | | 教育活動外収入計 | 5 | 4 |
| | 支出の活動 | 借入金等利息 | 285 | △18 |
| | | 教育活動外支出計 | 285 | △18 |
| | | 教育活動外収支差額 | △280 | 22 |
| | | 経常収支差額 | 378 | 1,274 |
| 特別収支 | 収入の活動 | 資産売却差額 | 0 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 43 | △40 |
| | | 特別収入計 | 43 | △40 |
| | 支出の活動 | 資産処分差額 | 5 | △19 |
| | | その他の特別支出 | 15 | 2 |
| | | 特別支出計 | 20 | △17 |
| | | 特別収支差額 | 24 | △23 |
| | | 基本金組入前当年度収支差額 | 401 | 1,251 |
| | | 基本金組入額合計 | △2,605 | 319 |
| | | 当年度収支差額 | △2,203 | 1,570 |
| | | 前年度繰越収支差額 | △54,947 | △3,774 |
| | | 基本金取崩額 | 17 | 17 |
| | | 翌年度繰越収支差額 | △57,134 | △2,186 |

(参考)

| | | |
|---------|--------|-------|
| 事業活動収入計 | 46,553 | 3,070 |
| 事業活動支出計 | 46,151 | 1,819 |

(注) 科目毎に百万円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

資金収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

| | | | | | |
|---------------|---------|-------|------------|----------|---------|
| 学生生徒等納付金収入 | 5,059 | 6 | 人件費支出 | 18,817 | 361 |
| 手数料収入 | 234 | △5 | 教育研究経費支出 | 22,575 | 1,977 |
| 寄付金収入 | 778 | 350 | （うち医療経費支出） | (20,645) | (2,022) |
| 補助金収入 | 1,743 | △237 | 管理経費支出 | 605 | 24 |
| （国庫補助金収入） | (1,375) | △241 | 借入金等利息支出 | 285 | △18 |
| （地方公共団体補助金収入） | (368) | 5 | 借入金等返済支出 | 1,792 | 80 |
| 資産売却収入 | 0 | 0 | 施設関係支出 | 136 | 86 |
| 付随事業・収益事業収入 | 513 | 14 | 設備関係支出 | 1,172 | 472 |
| 医療収入 | 37,451 | 2,816 | 資産運用支出 | 570 | 490 |
| 受取利息・配当金収入 | 5 | 4 | その他の支出 | 4,351 | △141 |
| 雑収入 | 695 | 69 | | | |
| 借入金等収入 | 70 | △10 | | | |
| 前受金収入 | 966 | 56 | | | |
| その他の収入 | 7,785 | △70 | | | |
| 資金収入調整勘定 | △7,838 | △559 | 資金支出調整勘定 | △3,255 | 246 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,272 | 1,556 | 翌年度繰越支払資金 | 5,685 | 413 |
| 収入の部合計 | 52,734 | 3,990 | 支出の部合計 | 52,734 | 3,990 |

(注) 科目毎に百万円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:百万円)

| 資 産 の 部 | | | 負 債 の 部 | | |
|-------------------|--------|--------|-------------|---------|--------|
| 科 目 | 金 額 | 前年差 | 科 目 | 金 額 | 前年差 |
| 固定資産 | 47,059 | △2,820 | 固定負債 | 24,805 | △1,944 |
| 有形固定資産 | 40,866 | △2,344 | 長期借入金 | 16,139 | △1,432 |
| 土地 | 8,773 | 0 | 学校債 | 720 | △250 |
| 建物 | 26,174 | △1,759 | 長期未払金 | 1,480 | △322 |
| 構築物 | 1,488 | △144 | 退職給与引当金 | 6,466 | 60 |
| 教育研究用機器備品 | 3,315 | △445 | 流動負債 | 6,548 | △248 |
| 管理用機器備品 | 189 | △7 | 短期借入金 | 1,432 | 0 |
| 図書 | 917 | 10 | 1年以内償還予定学校債 | 310 | △40 |
| 車両 | 6 | △2 | 未払金 | 3,412 | △265 |
| 建設仮勘定 | 4 | 4 | 前受金 | 993 | 46 |
| 特定資産 | 5,457 | △502 | 預り金 | 400 | 11 |
| 学校債償還引当特定資産 | 1,030 | △290 | 負債の部合計 | 31,353 | △2,192 |
| 借入金返済引当特定資産 | 2,000 | △700 | 純 資 産 の 部 | | |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 | 2,350 | 500 | 基本金 | 86,087 | 2,588 |
| 国際交流推進引当特定資産 | 41 | △7 | 第1号基本金 | 82,811 | 2,567 |
| 教育研究活性化引当特定資産 | 36 | △5 | 第4号基本金 | 3,276 | 21 |
| その他の固定資産 | 736 | 26 | 繰越収支差額 | △57,134 | △2,186 |
| 借地権 | 20 | 0 | 翌年度繰越収支差額 | △57,134 | △2,186 |
| 電話加入権 | 5 | 0 | 純資産の部合計 | 28,954 | 401 |
| 施設利用権 | 146 | △15 | 負債及び純資産の部合計 | 60,306 | △1,791 |
| ソフトウェア | 65 | △20 | | | |
| 有価証券 | 11 | 0 | | | |
| 長期貸付金 | 488 | 61 | | | |
| 保証金 | 0 | 0 | | | |
| 預託金 | 0 | 0 | | | |
| 流動資産 | 13,247 | 1,029 | | | |
| 現金預金 | 5,685 | 413 | | | |
| 未収入金 | 6,836 | 536 | | | |
| 貯蔵品 | 445 | 99 | | | |
| 短期貸付金 | 135 | 3 | | | |
| 立替金 | 2 | △0 | | | |
| 前払金 | 144 | △22 | | | |
| 資産の部合計 | 60,306 | △1,791 | | | |

(注) 科目毎に百万円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

大学での取り組み

○新型コロナウイルス対策委員会の発足

○愛知医科大学活動基準の制定・ホームページ公開

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めるため、新型コロナウイルス対策委員会を発足し、教職員及び学生が自律的に行動する上で参考となる基準を策定しました。①教育（講義・演習・実習など）、②研究活動、③学生の入構制限、④課外活動、⑤教職員、⑥会議・セミナー、⑦出張・旅行の活動に関して5段階のレベルを設け、委員会において定期的にレベルの見直しを行い、ホームページ内での周知を実施しています。



新型コロナウイルス対策委員会

○Web講義の実施



Web講義（分散登校時の様子）



事務部門によるWeb講義管理

○学生への支援

(1) 全学部生一律5万円支給

4月から遠隔授業を実施していることに伴い、パソコン・周辺機器の購入、インターネット環境などの整備や消耗品などの経費について支援することを目的とした「遠隔授業環境整備支援金」として、約1,100名の学部学生全員に一人当たり5万円を支給しました。

(2) パソコン無償貸与

看護学部の学生支援として、遠隔授業の環境整備が整わない学生を対象に、リユースのノートパソコンの貸し出しを実施しました。

(3) 授業料の減免

令和2年4月30日（木）に国会で成立した補正予算の「家計が急変した家庭の学生に対する支援」を受け、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学資負担者の収入が激減し、家計が急変した学生を対象に、授業料の一部（30万円）を免除します。

(4) 学生の健康管理

eラーニングシステム（AIDLE-K）を利用した「体調管理確認シート」を用いて、学生の健康状態を把握しています。

○職員の時差出勤、在宅勤務

感染拡大を防止するためには、職員一人ひとりが日頃から感染防止に心がけ、行動するだけでなく、就業中においても様々な工夫により感染防止に努めることが重要となります。

その感染防止策の一つとして、混雑した公共交通機関等を利用して通勤する者の感染リスクを軽減

し、持続的な業務運営に資するための措置として令和2年4月9日（木）から当面の間「時差出勤」を実施することを可能としました。また、事業者に対しても三つの密を避ける行動を徹底することが要請され、業務運営に支障が生じない範囲において、令和2年4月13日（月）から当面の間「在宅勤務」を実施可能としました。

病院での取り組み

○新型コロナウイルス関連連絡本部の設置

令和2年4月27日（月）に新型コロナウイルス関連連絡本部を設置しました。院内外の情報収集、今後の新型コロナウイルス対策の立案及び実施を目的とし、救急診療部の加納秀記教授を筆頭に本部を運営しています。

待合室における3密を避ける運営、病院職員の活動基準策定など、様々な感染拡大防止対策を実施し

ています。また、HCU病棟やEICU病棟におけるベッドコントロールについても本部にて協議し、人工透析など特別な治療が必要な新型コロナウイルス陽性の患者さんが来院した際の診療体制についても対応を行っています。

今後も通常診療のみでなく、新型コロナウイルスに対する医療体制を整備し、地域医療へ貢献します。

○病院正面玄関における発熱スクリーニング及びトリアージtentでの問診等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、令和2年5月7日（木）から全来院者に対して、次のような対策を実施しています。

- 1 病院への入り口を正面玄関の一か所に制限
- 2 正面玄関でのサーモグラフィカメラを用いた発熱スクリーニング及び発熱以外の症状等の確認
- 3 トリアージtentでの医師・看護師による対応発熱やその他の症状等がある来院者を正面玄関か

らトリアージtentに誘導します。トリアージtentでは、看護師による問診や医師の判断によって病院へ入館できるかどうかを決定しています。また、9月中旬から全入院患者にPCR検査の実施を予定しています。

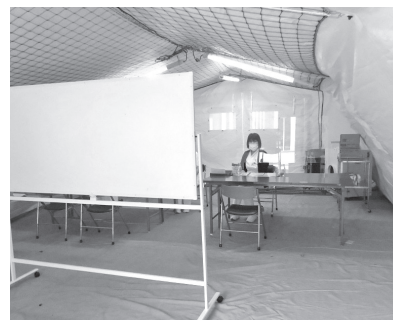
ご来院の方には、大変ご不便をお掛けしておりますが、感染拡大防止のため、ご理解とご協力をお願い致します。



正面玄関での発熱スクリーニング



正面玄関での手指消毒



トリアージtent

大学・病院へのご寄付に感謝申し上げます

大学病院を有する本学へのご協力として、本学近隣企業さまや関連企業さま等から、医療材料及び飲食料等のご寄付について多数のお申し出を賜りました。ご寄付を頂いた皆さまからのご厚意に深く感謝申し上げますとともに、前号に引き続き、掲載の許諾を頂いた企業さまの一部をご紹介します。（受領期間：令和2年7月1日～9月15日）



贈呈の様様（※1）

| 受領日 | 寄付者（業者名等） | 物 品 | 数 量 |
|------------------------------------|---------------------------------|------------------------|--------|
| 7月1日， 8月5日 | 株式会社アートプロ | マスク | 700枚 |
| | | アイガード | 900枚 |
| 7月6日， 9月2日， 4日， 7日， 10日， 14日 | BENKEI | 食品（菓子パン， 食パン， 惣菜パン） | 290個 |
| 8月6日 | キョーイクホールディングス株式会社 ^{*1} | サージカルマスク | 5,000枚 |
| 8月12日 | 株式会社リード企画（レストランオレンジ） | 飲料（水， コーヒー， 果汁） | 180本 |
| 9月2日 | 株式会社エアウィーヴ | マットレス | 2枚 |
| | | 段ボールベット | 10個 |

役員・評議員の異動

【理事】

- 辞 任 宮良 肇（令和2年5月31日付）
 退 任 佐藤啓二（令和2年3月31日付）
 就 任 磯部和男（任期：令和2年6月1日～令和4年1月27日）

【監事】

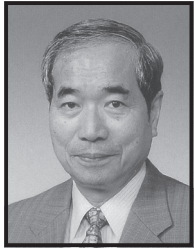
- 再 任 林 清博（任期：令和2年5月30日～令和5年5月29日）

【評議員】

- 辞 任 黒野俊介， 宮良 肇（令和2年5月31日付）
 退 任 佐藤啓二， 多喜田恵子， 山口悦郎（令和2年3月31日付）
 就 任 高橋佳子（任期：令和2年4月1日～令和4年1月27日），
 天野哲也， 伊藤恭彦， 松下 尋， 山口 力（任期：令和2年6月1日～令和4年1月27日）

訃報

梶江勇名誉教授御逝去



令和2年6月14日（日）に梶江勇名誉教授（生理学第1講座）がご逝去されました。享年89歳でした。

梶江先生は、昭和32年3月に名古屋市立大学医学部を卒業され、昭和47年4月に愛知医科大学生理学第1講座の助教授として着任後、昭和49年7月に教授へ昇任されました。昭和55年4月以降は、本学大学院担当教員（兼務）として大学院の創設に尽力し、その運営にも貢献されました。また、教務部次長、教務部長、学生部次長、学生部長として学生の教育向上及び厚生補導に努められたほか、医学部予算委員会委員長、総務委員会委員、入学試験委員会委員、留年対策委員会委員、施設委員会委員、研究科委員会運営委員会委員など多数の各

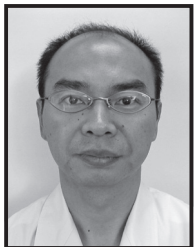
種委員会委員を歴任されるとともに、昭和55年から定年退職直前までの長きにわたり、学校法人愛知医科大学の評議員・理事として本学の発展に寄与されました。

更に、永年にわたる生理学の教育・研究では、血液の線維素溶解現象研究のパイオニアとして世界に先駆けた報告事例を有し、宇宙医学分野での独創的な研究や、血栓症の予防方法を精力的に発表されるなど、基礎医学者として高齢化社会に貢献する多くの業績を残されています。加えて、血栓止血学の研究において指導的役割を果たされるとともに、数多くの学会にて評議員や理事を努められたことで、我が国における生理学の向上、発展に多大な貢献をされました。

ここに追悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り致します。

訃報

藤井三郎主任（総合医学研究機構動物実験部門）御逝去



令和2年6月5日（金）に総合医学研究機構動物実験部門の藤井三郎主任がご逝去されました。享年56歳でした。

藤井主任は、昭和57年4月に本学の実験動物技術補助員に就職されて、その後、実験動物技術員を経て主任を務められました。昭和58年に附属動物実験施設が本学に設置されましたので、動物実験施設の歩みとともに、実験動物を利用する医学部の研究教育活動の支援業務を、38年間一筋に貫いて担当されたこととなります。医学の発展に欠かせない動物実験の飼養・技術支援に長きにわたって大きく貢献されました。

学内外を問わず藤井主任の周囲には動物関係の仕事に携わる古くからのご友人が多く、そこに幅広い交友関係を垣間見ると同時に、きっと若い頃から動物に強い関心があったものと窺い知ることができます。若い頃から学んで身につけた動物科

学の知識と飼養技術を最大に活かして、本学の動物実験施設の草創期から主役級にご活躍されていたものと、当時を知らない者であっても容易に想像できます。藤井主任が務められたこの間、動物実験や動物福祉に関連する考え方や取り組みは大きく変化して、自主管理の徹底と動物実験の適正化が強く求められるようになりました。藤井主任は施設管理に関わる者として、その変化に的確に且つ柔軟に対応して取り組まれました。ときに妥協を許さない頑固な姿勢は、施設利用者や後進の技術職員に信頼感として伝わりました。

病が判明したとき、「必ず復帰する。」との力強い宣言を誰もが信じて疑いませんでした。まだまだご活躍が期待されていただけに、早すぎご逝去は残念でなりません。

藤井主任のこれまでの多大な貢献に心より感謝するとともに、基礎医学研究の発展に努力することを誓い、ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

教育・研究・診療の基盤整備のため募金へのご協力をお願いします



学校法人 愛知医科大学
理事長 祖父江 元

愛知医科大学は、開学以来49年目を迎えた現在4,318人の医学部卒業生と1,788人の看護学部卒業生が、医学、医療の第一線で活躍しております。

本学では、医学の目覚ましい発展に即応した教育、研究、診療活動を展開するため、特色ある大学として21世紀における更なる発展を期して各種の事業の充実や施設・設備の整備及び拡充を図ってきました。

しかしながら、少子高齢化の進展、医療制度改革、医学・医療技術の飛躍的な進歩等の環境変化が急速に進み、本学の教育・研究・診療のハード・ソフトにわたる最新鋭化が絶えず求められています。その財政基盤の一層の強化・安定化を図るため、募金へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

募金要項

- ① 募金目的 教育・研究・診療に係る基盤整備のため
- ② 募金口数 個人：一口 10,000円
法人・団体：一口 50,000円
- ③ 免税の取り扱い 個人：税額控除制度・所得控除制度のいずれかを選択
法人・団体：受配者指定寄付金制度など

寄付の方法

<書面によるお申込み>

寄付申込書をご記入の上、愛知医科大学 資金・出納室までご送付頂き、別途お振込みなどをお願い致します。

書類等は本学HP「教育・研究・診療の基盤整備事業募金」<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0109/>をご覧頂きダウンロードして頂くか、「愛知医科大学 資金・出納室」(0561-63-1062)までご連絡ください。

<インターネットによるお申込み>

本学HPからお申込み頂くことができます。また、次のようなお支払いができます。

◆クレジットカード



◆コンビニ



◆ネットバンク（ペイジー）



お問い合わせ

学校法人愛知医科大学 法人本部 資金・出納室

電話 **0561-63-1062**

E-mail: sikin@aichi-med-u.ac.jp

ホームページ

<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su01/su0109/>

愛知医大 募金

検索



令和2年度医学部父兄後援会定期総会開催

新会長に磯部和男氏を選出



令和2年度愛知医科大学医学部父兄後援会・父兄互助会定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、紙面による持ち回りでの審議が実施され、新会長に磯部和男氏【写真】

が選出されました。

報告事項として、父兄後援会・父兄互助会の令和元年度事業及び決算について報告されるとともに、審議事項としては、磯部新会長を始めとする総勢19名の令和2年度の新役員が選出され、令和2年度事

業計画案及び予算案について原案どおり承認されました。

総会終了後に例年開催されている4～6学年次生のご父兄を対象とした国試懇談会についても、今年度の開催を見送ることになりました。

なお、学報掲載にあたり磯部新会長から「この1年間役員、父兄後援会の役割を十分に発揮できるよう邁進する所存です。今後とも本会へのご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。」とのあいさつがありました。

令和2年度看護学部父母会定期総会開催

新会長に松下 尋氏を選出



令和2年5月23日（土）に看護学部棟N102実習室において、令和2年度看護学部父母会定期総会が開催されました。今年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例

年とは異なり、事前に会員の皆さまに議件及び報告事項を郵送にて連絡し、議決権行使書の返送を以て意思表示と意見聴取を行い、当日は、会長及び副会長の出席により開催することとしました。

本会においては、黒野俊介会長から、令和元年度の事業報告及び決算報告、令和2年度予算（案）、令和2年度新役員（案）等について説明がなされ、

議決権行使書による確認を行い、原案のとおり承認されました。これにより、令和2年度看護学部父母会の新会長として、松下尋氏【写真】（4学年次生父母）が選出されました。

また、例年、定期総会に引き続き開催されておりました父母と大学教員との「学年別懇談会」についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、誠に残念ながら今年度の開催を見送ることと致しました。「学年別懇談会」は、父母と大学の双方が大学及びご家庭での学生さんの現状を共有し、より良い学生生活を送るための環境づくりのためにとっても重要と考えており、可能な限り早期に開催できる環境が整うことを切に願います。

令和2年度愛知医科大学公開講座に関するお知らせ

本学では、教育・研究を広く社会に開放し、地域社会の教育・文化向上に寄与することを目的として、公開講座を毎年開催しております。

今年度の公開講座につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催を一部中止としましたのでお知らせします。

【開催中止講座】

- 愛知医科大学公開講座
- 市民大学公開講演会（名古屋市教育委員会共催）
- 愛知医科大学公開講座（長久手市連携事業）
- 愛知医科大学公開講座（瀬戸市連携事業）

科学研究費助成事業執行方法等の説明動画を配信

令和2年6月11日（木）に、科学研究費助成事業（科学研究費補助金、学術研究助成基金助成金）の執行方法等の説明が授業支援システムAIDLE-Kを利用した動画配信によって実施されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う感染防止の観点から、例年、講義室において対面で行う説明会に替えて動画配信としており、今年度に科研費の補助事業者となっている研究代表者及び研究分担者を対象に、採択された科研費の制度に関する理解の向上と適正な執行を確保し、不正防止等の徹底を図ることを目的としています。

本動画は、年間のスケジュール、補助金制度と基金制度の相違点、ルール改正、学内執行ルール及び補助事業遂行に当たっての留意点等や、最近の研究費不正使用に関する事例紹介などを行い、聴取する研究者等に対して不正使用防止に向けた注意喚起を行う内容となっています。

また、本動画を聴取された教職員148名から内容等に関するアンケート調査に回答して頂きました。動画による説明は初めての試みでしたが、これらの結果を基に、今後の説明会開催形式を改善し、説明内容等をより向上させていきます。



献血ご協力ありがとうございました

令和2年6月18日（木）大学本館1階南側ロビーにおいて、愛知県赤十字血液センター主催の本学職員等による団体献血が実施され、職員を始め多くの方にご協力頂きました。

せっかく献血をお申し出頂いたのに体調によりご協力頂けなかった方々は、ご自愛頂き、次回の献血の際には是非ご協力くださるようお願いします。

次回は令和3年1月頃に予定していますので、ご協力よろしく申し上げます。

夏の団体献血

| | |
|-------------|----------------------|
| ・ 献血受付数 | ・ 54名 |
| ・ 献血できた方 | ・ 45名 (400ml・43名) |
| ・ 献血できなかった方 | ・ 9名 |

令和2年度新規採用事務職員研修実施

例年4月に実施される新規採用職員研修では、ビジネスマナーや本学についての基礎知識を事務職員・看護職員・医療職員が合同で受講していましたが、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する観点から、合同研修を全て中止し、ホームページ上で資料を閲覧し、アンケートに回答する方法で研修が実施されました。

令和2年度新規採用事務職員を対象に、令和2年4月1日（水）から3日（金）及び6日（月）まで実施された事務職員研修では、本学の施設見学やコミュニケーションワークを通じて同期同士の仲を深めるとともに、電話対応や文書事務、経理システムなど業務遂行に必要なスキルを学びました。また、内定期間中からグループで取り組んだ「本学及び本院の特徴は?」、「あなたは本学の職員として、どのような大学及び病院にしていきたいですか?」という課題に対する発表が管理職者の前で行われました。



研修風景

また、令和2年4月10日（金）から6月26日（金）にかけて行われた新規採用事務職員向けの事務組織研修では、各部署の先輩職員が講師として自部署についての解説を行い、新規採用事務職員は、今後関わる事務組織を詳しく学ぶことができました。

研修受講後のアンケートでは、「本学の組織としての大きさを実感した。」、「大学、病院の各部門で様々な部署があり、本当に多くの職員が働いていることを実感した。」などの感想がありました。

令和2年度全教職員SD「マインドフルネス研修」動画の配信

令和2年6月17日（水）から、運動療育センターの若林淑子事務長を講師として、医療関係者を始めとした全教職員が抱える心の負担を軽減することを目的に、ゆったりとした呼吸法によってリラックスすることで心が安定し、集中力・生産性の向上に繋がるマインドフルネスをテーマとした研修動画が、新型コロナウイルス感染症の拡大に関連し、オンラインによって配信されました。

研修動画では、マインドフルネス瞑想に関する講

義と、呼吸法の実践指導を行い、集中力アップやストレスコントロールのスキルを習得する内容が収録されました。

動画視聴後のアンケートでは、「慢性的な疲労感が軽減した。」、「就寝前に実践しているが、深い眠りが得られていると感じる。」、「コロナ禍で公私ともに疲弊しきっていたため、その効果も高まった実感がある。」、「心を落ち着かせることができ、集中力が増加した。」などの感想がありました。

令和元年度新規採用事務職員1年フォロー研修実施

令和2年6月24日（水）午後3時から5時まで大学本館701会議室において、事務部門の令和元年度新規採用事務職員7名を対象に、配属後1年を一つの区切りとしたフォロー研修が実施されました。

本研修では、これまで数々の研修において受講者としての立場でしか経験したことがない入職2年目となる自身が講師として初めて演台に立ち、プレゼンテーション発表を行うという形式で行われました。令和2年1月に「令和2年度入職の新規採用事務職員に対し、2年目の先輩として伝えたいこと、教えてあげたいことを発表する。」という課題が通知され、発表日まで約5か月の準備期間が設けられました。

研修当日は、令和2年度新規採用事務職員、各部署における上長及び先輩職員など約20名が聴講する中、各自準備したスライドを用いて発表されました。上司や後輩職員に注目される中、全体が緊張した雰囲気スタートしたものの、プレゼンテーションでは、各自が自身の仕事を紹介し、1年の振り返りに



入職2年目の皆さん

ついて、自信を持って発表することができました。

受講者からは、「自分の1年間を振り返ることでこれからの1年の課題を見つけることができた。」「プレゼンテーションの練習をする中で、資料の作成方法や人に分かりやすく伝える話し方などについて学ぶことができた。今後の業務に活かしていきたい。」などの感想がありました。

令和2年度事務系管理職SD「アンガーマネジメント研修」実施

令和2年7月31日（金）午後3時から4時まで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意し、大学本館たちばなホールにおいて、怒りとうまく付き合うための心理トレーニングである「アンガーマネジメント」をテーマとして、「怒り」を正しく理解し、コントロールする方法を学ぶ事務系管理職SD研修が実施されました。【写真】

研修では、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会の森有紀子アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザーを講師にお招きし、アンガーマネジメントの理解を通じて、日常における自身の感情の動きを振り返り、怒りの要因等を冷静に分析することで、怒りの抑制を習慣化し、職場における円滑なコミュニケーションの実践に繋げるだけでなく、ストレスの軽減・指導の質の向上などに繋がる内容をお話し頂きました。



研修後に行ったアンケートでは、「自身の日々の振り返りができる良い機会となった。」「これまでの研修では、『怒るな、叱れ。』と言われてきたが、怒ることを否定されず、コントロールすることについて教えて頂いたことが新鮮だった。」などの感想がありました。

【高大連携事業】

認知症サポーター養成講座開催

令和2年7月1日（水）午後1時30分から午後3時30分まで、看護学部棟N102実習室において、愛知県立長久手高等学校との高大連携事業「医療看護探究C」の授業の一環として、社会福祉法人長久手市社会福祉協議会、キャラバン・メイト及び長久手市役所長寿課のご協力の下、「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

当日は、「医療看護探究コース」の第2学年14名、第3学年14名の計28名が参加し、認知症についての講義、認知症の方への対応方法についてのDVD視聴やキャラバン・メイトによる寸劇鑑賞を通して、グループ討議後に認知症の方への対応方法についての発表が行われました。最後にキャラバン・メイトの演じる認知症の方への声掛け体験が行われ、講座は盛況のうち終了となりました。



認知症の方への対応方法を学ぶ高校生

高校生からは「認知症の方だからといって何もできないわけではない。」「手助けがあれば健康な方と同じように生活できる。」「認知症の方の気持ちを考えた接し方や環境作りをしていきたい。」などの感想があり、認知症の方への理解を深め、接し方の基本について考える講座となりました。

【高大連携事業】

総合学術情報センター図書館の利用

総合学術情報センター（図書館部門）では、愛知県立長久手高等学校と愛知医科大学との高大連携の一環として、令和元年度から長久手高等学校の生徒及び教職員の学習のために各種サービスを提供しています。

医学・看護学の専門書の閲覧及び貸出、閲覧席やグループ学習室の利用、館内の利用者端末から医療系データベースの検索や電子ブック、電子ジャーナルの閲覧ができます。

令和2年7月22日（水）には、医療看護コースの2学年次の生徒14名を対象に、司書による図書館利用ガイダンス、図書館ツアーを実施し、基本的な資料の探し方や施設の利用方法などの説明が行われました。今後、学習の場として図書館を積極的に活用して頂きたいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による利用時間変更等の詳細については、総合学術情報センター（図書館部門）までお問合せください。

総合学術情報センター図書館利用講習会 (オンラインセミナー) 実施

総合学術情報センター（図書館部門）において、令和2年6月及び7月の5日間に図書館利用講習会が開催され、全日程で教職員25名の参加がありました。

UpToDate入門オンラインセミナーでは、提供者であるウォルターズ・クルワーのトレーナーを講師に迎え、臨床意思決定支援リソースUpToDateの基本的な使い方・機能について、トピックス編集プロセスについて、最新情報、モバイルアプリ等の

知っておくと便利な機能についての説明があり、質疑応答が行われました。

新Refworks入門オンラインセミナーでは、提供者である株式会社サンメディアの伊藤ミナミ氏を講師に迎え、新Refworksの概要、現行のRefworksから新Refworksへの移行、アカウント作成についての説明があり、質疑応答が行われました。

今後も、図書館利用講習会を開催していく予定です。

<開催内容>

| 日 時 | | セミナー名 |
|--|--------------|------------------------------|
| 6/24 (水), 7/8 (水), 7/14 (火), 7/22 (水) | 午後6時30分～午後7時 | 30分で分かる！UpToDate入門オンラインセミナー |
| 7/7 (火) | 午後4時30分～午後5時 | 30分で分かる！新Refworks入門オンラインセミナー |

教授就任インタビュー



医学教育センター・教授

わ せ だ かつひさ
早稲田 勝久

— 教授就任に当たっての 抱負を聞かせてください。—

この度、令和2年7月1日付で医学教育センターの教授、8月1日付で医学教育センターのセンター長を拝命致しました。

私は本学医学部を平成9年に卒業し、以後約20年間循環器内科医として勤務してきましたが、平成29年1月に医学教育センターに異動となり、主に卒前教育の管轄を任されるようになりました。医学教育は私にとって当然新しい分野であり、この数年間は手探りのなか進めてきました。令和元年9月には、日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価の受審が終了しました。今後は、分野別評価において指摘されたことを毎年改善しながら、特色のある医学教育ができるよう、カリキュラムの改革を始め、教育を充実させていきたいと思えます。「良い教育のある組織には人が集まる。」と言われ、教育無くして組織の活性化・発展は無いと思えます。医療界のみならず社会情勢は変化していますので、社会のニーズに応えられる医師を育成・輩出できるよう微力ながら尽力させて頂く所存です。

— 現在の研究分野に進まれた きっかけを教えてください。—

前述のとおり、卒後20年近くは循環器内科医として従事してきました。この間、7年半の米国留学も経験し、自分は循環器内科医として生涯働くものと思っていました。平成28年9月頃に当時の三宅養三

理事長、岡田尚志郎医学部長、今井裕一医学教育センター長から、本学の医学教育センターをお願いしたいというお話を頂いたのが、医学教育の道を選択したきっかけです。卒後、約20年経過し改めて学内を見渡すと、学内に残る同期や先輩は多くなく、「こうやって声を掛けて頂いたのも、めぐり合わせか。」と思い、また、「医学教育は卒業生が頑張らないと変わらない。」と多くの先生から背中を押して頂きました。最後は、「自分を必要とする部署で頑張ろう。」という気持ちで決断しました。

医学教育という新しい領域では、臨床で多くの診療科の先生と症例を通してコミュニケーションを取ってきたことが助けになっています。苦勞も多いですが、循環器内科医としてのみ仕事をしていたら気づかなかったことが沢山あり、この選択は医師としても更に成長できる機会であると改めて思えます。

— 学生へのメッセージをお願いします。—

学生の皆さんは、自分の将来をどのように考えているのでしょうか？

私は、学生の頃から循環器に興味があり、循環器内科に入局しました。今振り返ると学生時代も含め、複数の恩師やロールモデルが存在し、ターニングポイントの際にはよく相談に乗って頂きました。彼らの多くは、たとえ分野が異なってもプロフェッショナルであり、一流の意識を持っており、それが、自分自身を成長させてくれたと思えます。皆さんも授業・実習を通して、多くの教員とコミュニケーションを取り、ロールモデルや相談できる教員を見つけられるといいと思えます。皆さんの将来を含め、広く相談に乗っていきたく思いますので、気軽に医学教育センターに来て頂ければと思います。



海外学会参加の際に留学時代のポスト

医学教育分野別評価の受審結果

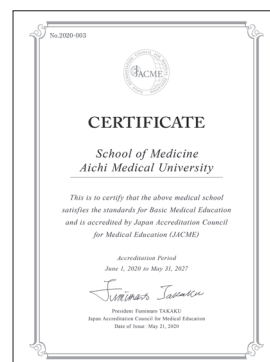
愛知医科大学医学部では、カリキュラム及び教育内容について、学内での議論を進めながら教育改善に取り組んでいますが、教育レベルをより一層アップさせるために、国際基準に適合した教育内容全般の評価を受けることが必要不可欠であり、令和元年度に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審しました。

その結果、世界医学教育連盟のグローバル・スタンダードを踏まえた評価基準に適合していることが認定されました。認定期間は7年間（2020年6月1日から2027年5月31日まで）です。

特に、「4～6学年次生の専用自習スペースが整備され、活用されていること」、「屋根瓦形式の診療参加型臨床実習の実践」などは、高い評価を受けました。更に、「海外教育機関との交流」、「学生の学修意欲を刺激する問題基盤型グループ学修など多様な教育方法の推進」、「生涯学習につながる、1～4



認定証（日本語版）



認定証（英語版）



認定マーク

学年次におけるプロフェッショナルリズム教育」など、本学のこれまでの取り組みが評価されました。

本学医学部では、今回のJACMEによる評価結果を踏まえて、引き続き教育プログラムの充実を図り、時代が求める良医の育成に取り組んで参ります。

令和2年度医学部解剖慰霊祭挙行

令和2年度の医学部解剖慰霊祭は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえた国の方針を受け、感染のリスクを減らすための措置を講じた上で、大学関係者のみが参加する規模縮小形式で令和2年5月11日（月）覚王山日泰寺において、厳かに執り行われました。本学からは、若槻明彦医学部長、解剖学講座の内藤宗和教授を始めとする関係教職員6名が参列しました。

今年度の慰霊祭では、平成31年4月から系統解剖と病理解剖にご遺体を供せられた78柱の御霊を新たに合祀し、総数5,174柱の御霊に対し、法要が営まれました。午後2時から導師の入堂により祭儀が始まり、若槻医学部長が慰霊の辞を述べ、御霊に深い感謝と尊崇の念を捧げました。



慰霊の辞を述べる若槻医学部長

この後、広い本堂に僧侶の読経が響きわたる中、若槻医学部長始め参列者一人ひとりが焼香して献体者のご冥福を祈り、つつがなく慰霊祭が終了しました。

医学部2学年次外来案内実習実施

令和2年7月21日（火）、22日（水）、27日（月）の3日間、2学年次の授業科目「外来案内実習」（患者さんエスコート実習）が行われ、2学年次生113名が参加しました。

この実習は、医学生として患者さんの診察受付から会計、薬の受け渡しまで同行し、患者さんの視点から本院における医療の実態を知ること、医療がどうあるべきか、医療従事者とはどのようにあるべきかを自分自身に問いかけることを目的としています。今年、新型コロナウイルス感染症による影響で、各実習日の参加学生数を3分の2とし、更に各学生のマスク着用、消毒用アルコールを持参するなど、感染対策を十分に行って実施されました。

実習初日、本院オアシスホールに集合した学生は、科目責任者である衛生学講座の鈴木孝太教授を始め、関係教員の指導の下、まずは来院患者さんに付き添いの承諾を得ることから実習を開始しました。学生の多くは、緊張した面持ちで声をかけていましたが、診察などを待つ時間に患者さんとのコミュニケーションを図り、患者さんから「家族の車イスを



患者さんとコミュニケーションを図る学生

押してもらい助かった。」「医学生と交流を持てたことが貴重な経験となった。」などの感謝のお言葉やお褒めの言葉を頂きました。また、学生も患者さん一人ひとりと向き合うことの大切さを実感したようです。

今後も、患者さんの声を含め、関係部署の方のご意見を基に改善しつつ、この実習を継続し、患者さんの立場に立てる良き医師の育成に努めていきます。

国家試験日程のお知らせ

◆第115回医師国家試験

- ・試験日 令和3年2月6日（土）・7日（日）
- ・合格発表 令和3年3月16日（火）

◆第107回保健師国家試験

- ・試験日 令和3年2月12日（金）
- ・合格発表 令和3年3月26日（金）

◆第110回看護師国家試験

- ・試験日 令和3年2月14日（日）
- ・合格発表 令和3年3月26日（金）

令和2年度看護学部キャンドルセレモニー挙行

令和2年7月2日（木）午前11時から、「令和2年度看護学部キャンドルセレモニー（宣誓式）」が2学年次生を対象に挙行されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生のみのお出席とし、座席の間隔を空けて着席するために四つの会場（看護学部棟N102実習室、N301講義室、N302講義室、N306実習室）に分け、Zoomを利用した開催となりました。

始めに、祖父江元 学長から、「患者さんは、色々な背景を背負って病気と闘っており、全身で病気を訴えてきます。病気を読み解く上での重要なヒントが隠れていることも多いため、カルテの内容のみをみるのではなく、必ず現場に行き患者さんをよくみるのが大切です。」、また、明治時代に海軍軍医であり、イギリスでの留学時にナイチンゲールの看護学に感銘を受けた高木兼寛氏の“病気をみずして病人をみよ”、“医師と看護師は車の両輪のごとし”の言葉を紹介され、「ぜひ良い実習を経験して頑張ってください。」と式辞を述べられました。

続いて、坂本真理子看護学部長から、「皆さんはこれから、実際の患者さんに関わりを持ち、看護を本格的に進化させていく段階に入っていきます。皆さんの学びは、多くの方々や幾層もの支援、サポート体制の上に成り立っています。かけがえのない時間を共有して下さる皆さんを尊敬し、その努力に報いることができるよう精一杯の努力と準備をして学修に臨んでください。また、常に万全の体調で患者さんに向かい、実習に臨めるよう自らの健康をコントロールし、改善することができるヘルスプロ



Zoomを利用したセレモニーの様子

ーションを実践できるよう心がけてください。」、最後に、本学部創設者の馬場昌子先生の言葉で“看護は生涯をかけた未知の世界への感動的な挑戦であった”を紹介され、「奥深い看護道を皆さんとともに進んでいきたいと思えます。」とのメッセージを頂きました。

その後、リレー方式で各部屋の代表者が「学生宣誓」を行い、同様にキャンドルセレモニー実行委員の学生が「誓いの言葉」を述べてキャンドルセレモニーを終了しました。

キャンドルセレモニー後の学生アンケートでは、「看護学を学ぶ者としての協調性、責任感を持つことができ、また、決意を新たにできた。」との回答が多く得られ、『看護学専門科目を本格的に学ぶ前に、自覚と責任を持つとともに協調性を育み、将来看護専門職者となるための決意を新たにす。』というキャンドルセレモニー（宣誓式）の趣旨が十分に理解されたセレモニーとなりました。



出席者による集合写真

看護学部進路支援講座の実施

令和2年6月25日（木）午後2時40分から、3学年次生を対象に、「進路支援講座」が開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために遠隔講義形式で実施し、学生は自宅において受講することとなりました。

始めに、佐々木裕子学生委員会委員長及び委員の先生から本講座の趣旨等が述べられ、次いでナース専科就職ナビ及び株式会社インプレッションズの方を講師に迎え、厳しくなりつつある看護職を取り巻く現在の環境とそのような中でも就職活動に打ち

勝っていくために必要なマナーや心構え、面接時の印象管理、医療現場でのわきまえや意思を伝える方法などを含めて詳しく説明して頂きました。また、今後も採用試験において実施が予想される「Web面接」のための事前準備と注意点についても分かりやすく説明して頂きました。

次第に早期化、短期化している採用試験に臨む学生にとって、十分な心構えと対策をとるための貴重な講座となりました。

看護学部メイク対策講習会開催

令和2年6月26日（金）午後2時40分から、看護学部2学年次生を対象に、医療現場に相応しい好印象を与える身だしなみを学ぶための「メイク対策講習会」が開催されました。

講師には、株式会社POLAのビューティーアドバイザーの方を迎えて、男性用と女性用の講座に分け、女性のための講座をC病棟2階C201講義室で行い、男性のための講座をC病棟2階C202講義室において、それぞれZoomを用いて行われました。女性向け講座では、洗顔から保湿、下地、メイクに至るま

で、流行りのメイク方法を交えて実際にメイクの様子や手元をスクリーンに映しながら視覚的にも分かりやすい内容でした。メイク方法は、濃くなく、清潔感を出して、まわりに好感を持たれる「魅力発揮メイク」について説明頂きました。男性向け講座では、清潔感溢れるスキンケアを中心とした講座が開催されました。

基礎看護学実習に向けて、また将来、看護職者として働く学生にとって、有意義な講習会となりました。

大学院医学研究科学生表彰（優秀論文賞）



大学院医学研究科では、学生の研究活動の活性化を図るため、学生が顕著な業績を挙げた場合等の表彰制度を設けています。

この度、内科学講座（肝胆膵内科）の米田政志教授から、令和元年度に修了した坂本和賢氏【写真】（臨床医学系内科学専攻）の学位論文について推薦があり、選考した結果、「優秀論文賞」として表彰されることとなりました。

坂本氏の論文の研究対象であるB型肝炎ウイルス

（HBV）の再活性化は、一度発症すると重篤な急性肝不全を引き起こし、死に至る可能性があります。今回の研究では、新たにHBV再活性化に関連する遺伝子変異を見つけることに成功しました。この発見は、今後HBVの再活性化発生のメカニズムの解明と疾患制御のために有益と考えられ、非常に評価の高い雑誌（The Journal of Infectious Diseases）に掲載されました。

今後も、表彰される学生が続くことを期待します。

大学病院 ～新センターのご紹介～

パーキンソン病総合治療センター

パーキンソン病総合治療センター・教授（特任） 齋木 英資

本院に令和2年7月1日付けで、「パーキンソン病総合治療センター」が設置されました。

代表的神経疾患であるパーキンソン病は、治療方法の確立したほぼ唯一の神経難病であり、神経系指定難病の中では患者数が最も多く、高齢化に伴い更に急速に増加しています。

この疾患治療の主体は薬物療法であり、これまでに数多くの有用な薬剤が開発されていますが、その進歩は新たな作用機序の薬剤開発に止まらず、デバイス開発、iPS細胞移植による再生医療にまで手が届きつつあります。

このように、日々高度に進化し、複雑多岐化するパーキンソン病の内科的及び外科的治療を、神経内科専門医及び脳神経外科専門医が中心となって統括するパーキンソン病総合治療センターは、今後益々その重要性が期待されています。本センターは、関連診療科と連携して、高度かつ最新・最良の患者個別治療を継続的に提供できる診療体制の構築を図り、本院を愛知県下・東海地域におけるパーキンソン病治療の拠点施設へと発展させるものと期待されております。

令和2年度オープンホスピタルの中止

オープンホスピタルは、過去2回の実施において1,000人以上の方々にご来場頂き、大盛況なイベントとなっています。今年度も、開催に向けて計画しておりましたが、現在の新型コロナウイルス感染症による情勢を鑑み、今年度の開催を中止とすることが決定されました。

オープンホスピタルを楽しみにして下さる方々には申し訳ありませんが、ご理解ご協力頂きますようお願い致します。

来年度以降、開催が可能な情勢に落ち着きましたら、改めてご案内をさせていただきます。

令和2年度看護学部臨床教授等の称号授与

令和2年7月14日（火）午後1時から本院看護部管理室において、令和2年度看護学部臨床教授等の称号授与が行われました。今年度は、臨床教授3名、臨床准教授4名、臨床講師5名が選考され、坂本真理子看護学部長から辞令が交付されました。

看護学部では、臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とし、平成18年4月から臨床教授制を導入しています。本制度は、豊富な臨床実習の指導経験と優れた看護実践能力及び教育能力を持つ看護職員に臨床教授等の称号を授与し、学生の指導を行って頂いております。学生にとっては、丁寧な実習指導が受けられることはもちろんのこと、将来目指す看護師像が明確となる機会になっています。



称号授与者との記念撮影

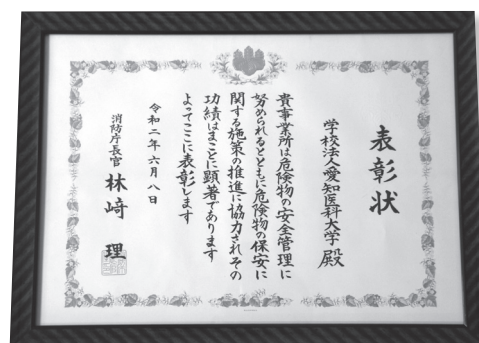
看護学部では、今後も本院看護部と連携・協働し、豊かな人間性と確かな看護実践能力を備えた看護職者の育成を進めて参ります。

令和2年度優良危険物関係事業所 総務省消防庁長官表彰 受賞

愛知医科大学は、危険物関係法令の遵守はもとより、危険物の保安に関する行政の推進に協力し、国民生活の安全確保に顕著な功績があった事業所として、このたび令和2年度優良危険物関係事業所総務省消防庁長官表彰を受賞しました。【写真】これは長久手市危険物安全協会からの選出を受け、本学における危険物の安全管理及び自主保安体制の充実・強化に努めていることが高く評価されたものです。

この賞は、自主的かつ積極的に危険物の安全管理の推進に努めるとともに、危険物の保安に関する行政の推進に協力し、国民生活の安全の維持に顕著な功績があった危険物関係事業所を消防庁長官が表彰することにより、危険物関係事業所における自主保安体制の確立と消防行政の円滑な推進に資することを目的としています。

今後も、活動を継続し危険物の安全管理及び自主保安体制の充実・強化に努めていきたいと思えます。



愛知医大サービス株式会社 デザイン紹介

愛知医大サービス株式会社では事業の一つとして、大学・病院内にてサービス施設を運営しています。

病院内には、外来レストラン「シトラス・たちばな」、喫茶店「カフェ・ド・クリエ」、売店「セブン-イレブン」、理美容店「モモタロー」、医療売店・福祉用具「アルフレッサメディカルサービス」、「ヤガミホームヘルスセンター」があります。大学内には、学生レストラン「オレンジ」、書籍店「丸善」があります。そして、立石プラザ（アメニティ棟）内にはフードコートとして「スガキヤ」、「CoCo壱番屋」があります。

今回は、その中の外来レストラン「シトラス・たちばな」と喫茶店「カフェ・ド・クリエ」をご紹介します。なお、現在新型コロナウイルスの影響で営業時間を短縮しています。詳細は、ホームページにてご確認ください。<<http://aichi-idai-service.com/>>

◎ 外来レストラン「シトラス・たちばな」

ダイニングカフェで和洋食、デザート等のメニューを豊富に取り揃えており、出来立ての料理はとて美味いです。特に、日替わりランチは大人気です。

営業時間：平 日 7:30～18:00
土日・祝日 10:00～17:00

◎ 喫茶店「カフェ・ド・クリエ」

店内での飲食とテイクアウトができ、毎日多くのお客様で賑わっています。中でもモーニングセットは大好評です。

営業時間：平 日 7:00～21:00
土日・祝日 8:00～19:00

是非一度、ご賞味ください。



シトラス・たちばな



カフェ・ド・クリエ

学 術 振 興

学 位 授 与

◆大学院医学研究科



前仲 亮宏

学位授与番号 甲第572号

学位授与年月日 令和2年7月9日

論文題目：「Interferon- γ -induced
HLA Class II expression on

endothelial cells is decreased by inhibition of
mTOR and HMG-CoA reductase (内皮細胞にお
けるインターフェロンガンマ誘導性HLA-classII発現
はmTORとHMG-CoA還元酵素阻害で減少する)」



宮本 敢右

学位授与番号 乙第405号

学位授与年月日 令和2年7月9日

論文題目：「Analysis of factors for
post-percutaneous transluminal

angioplasty primary patency rate in hemodialysis
vascular access (血液透析患者における経皮的血管
形成術後の一次開存率に関する因子の検討)」



波柴 尉充

学位授与番号 乙第404号

学位授与年月日 令和2年7月9日

論文題目：「Neutrophil extracellular
traps in patients with sepsis (敗血

症患者の好中球細胞外トラップ (NETs))」

研究助成等採択者

○公益財団法人三島海雲記念財団

学術研究奨励 (個人研究奨励金)

- 氏名 加塩麻紀子 (生理学講座・講師)
研究題目 膝島概日リズム異常の是正を目指し
た新規糖尿病治療戦略の探索
助成金額 1,000,000円

○公益信託第24回日本医学会総会記念医学振興基金 研究助成

- 氏名 加塩麻紀子 (生理学講座・講師)
研究題目 TRPM2/SIRT1機能連関を介した代
謝制御機構の解明
助成金額 1,000,000円
- 氏名 山村彩 (生理学講座・講師)
研究題目 肺動脈性肺高血圧症に対するサイト
カイン受容体抗体薬の創製
助成金額 1,000,000円

○公益財団法人武田科学振興財団

医学系研究助成 (基礎)

- 氏名 池上啓介 (生理学講座・助教)
研究題目 高眼圧による視神経障害および眼房
水産生排出における概日リズム制御
の研究
助成金額 2,000,000円
- 氏名 兵頭寿典 (生化学講座・講師)
研究題目 安全性の高い新規ゲノム編集法、
Tandem Paired Nicking法のさらな
る改良と臨床応用を目指して
助成金額 2,000,000円

～大学・病院を支える笑顔豊かなスタッフ陣～

「Smile ~スマイル~」では、大学・病院で活躍する職員の笑顔にスポットライトを当てて、各部署における活動内容や取組みなどについて紹介致します。

高度救命救急センター

愛知医科大学病院・高度救命救急センターは、救急医療の最後の砦を守るため、24時間、365日、全ての患者さんに高度で安全な医療を提供しています。広範囲熱傷や四肢切断、急性中毒などの特殊な治療を要する患者さんへの救急医療を行う「高度救命救急センター」を愛知県内で唯一展開しているほか、ドクターヘリの基地病院やプライマリケアセンターを擁し、地域救急医療の拠点施設になっています。令和元年度の患者受け入れ件数は、救急車が7千件（一日平均約19.2件）、ドクターヘリが450件（一日平均約1.2件）を超え、年々増加の傾向を示しています。

ドクターヘリは、平成14年から全国で四番目の事業として開始されています。単なる患者輸送のため



スタッフの集合写真

のシステムではなく、現場に医療チームを派遣し、初期治療を開始するまでの時間の短縮を目的とし、救命率の向上、後遺症軽減に役立っています。病院前の現場から最先端の集中治療まで、シームレスで、緻密で、時に大胆に、患者ファーストを常に考え、高度な技術、知識、実行力を有する多数の専門医、看護師、医療スタッフによるチーム医療を実践しています。

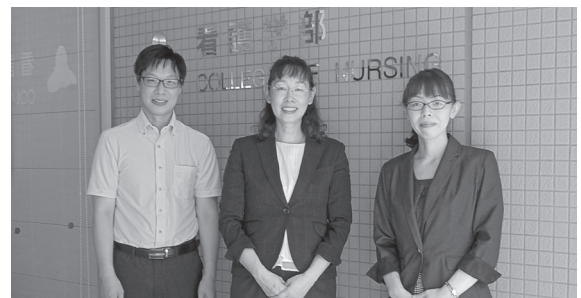
精神看護学

精神看護学領域は、教員3名で構成しています。令和2年4月で顔触れががらりと変わり、新たなチームとして動き出したところです。

当領域で担当する主な学部授業は、2・3学年次生を対象とする「精神看護学概論」、「精神看護学援助論」と地域施設や精神科病院で行う「精神看護学実習」です。

精神看護学は、精神障害をもつ人への援助だけではなく、人間関係を通して行う援助であらゆる領域のこころの健康維持・増進に関わる看護学です。ケアの本質に関わる内容も多くありますが、その分、目には見えにくい面があります。

そのため、教育では具体的な事例から受講者自身が考え、他者と意見を交わすことを通じて「精神科看護」だけでなく、より幅広い「精神看護」の考え方や援助方法を探究するプロセスを大切にしています。COVID-19拡大によって、対面で伝え合い、ニュアンスや場の空気感を共有しながら考える授業・実習展開に制約が生じる中、教材にも工夫を凝らしています。また、研究や実践においては、各メンバー



精神看護学領域メンバー



リアリティにこだわるpaper patient 教材作成場面
(患者モデルの撮影)

のもつ多様な学問的・臨床的背景を活かし、様々な角度から活動を行っています。

全身を診る医師の養成と、臨床に直結した研究

【医学教育のグローバルスタンダードを目指して】

古今東西、臨床の基本は、(1) 病歴を詳細に聴取することと、(2) 頭から爪先まで全身をくまなく観察すること、更に (3) 患者さんから学ぶ姿勢です。そこで、従来の血液・造血器学に加え、平成30年「臨床実習入門（4学年次生）」を、本学全内科系教員協力のもと始めました。小グループ実習を行い、チューター役の教員が「熱く」指導しています。チューター自身にとっても、内科医の基本に立ち返る良い機会との声が聞かれます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で心配されましたが、関係者の努力下、7月に無事対面での授業が実施できました。

研修医・専修医教育に関しては、血液内科はもとも総合診療科的側面が大きく、高いレベルでの全身管理や感染症の診断・治療技術を学修することになります。更に、研究マインドを錬成することで、物事を俯瞰し広い視野で考える力が身につく、医師としての成長のきっかけになると期待しています。また、がんの診断から治療まで一貫して行える血液内科は、がん診療の中心を担っており、がん薬物療法専門医の取得においても血液内科研修が義務付けられています。

【世界に発信する医学研究】

私たちが大切にしているのは、臨床における疑問 (clinical question) を研究に結び付ける意識です。大学病院における医師の指命は、患者さんを丁寧に診療しながら、高いレベルの臨床研究・基礎研究を推進し、世界の生命科学の発展に貢献することにあります。そのため、臓器横断的に全身を診る技術を涵養すると同時に、科学的視点から疾患を徹底的に分析する姿勢が大切です。特に血液内科は、臨床と研究の垣根が低いため、分子標的薬や免疫療法、造血幹細胞移植など、画期的な治療法の多くが、血液内科に端を発しています。基礎研究の成果を第一に臨床に応用できるのも、血液内科の特徴の一つです。

内科学講座（血液内科）・教授 高見 昭良

現在の主な研究課題（中心メンバー）を示します。

1. 造血幹細胞移植における機能的遺伝子多型解析（水野，内野，堀尾）
2. 造血幹細胞移植の最適化（水野）
3. 血液がんにおける薬剤耐性機序の解明（高杉，金杉，水野，Vu Quang，瀬戸，花村）
4. 血液疾患の診断・治療の最適化（中村，高杉，村上，内野，山本，松村，山田，中野）
5. 新規抗腫瘍分子標的薬の基礎・臨床研究（村上，中村，高杉）
6. 食物由来化合物による感染・腫瘍免疫の誘導（Vu Quang，仲上）
7. 遺伝性疾患ケアの最適化（大東）

【講座からの一言】

病気や症状に苦しむ患者さんやご家族にとって、大学病院は「最後の砦＝ラストホープ」です。その中で、本診療科医師は、血液内科医として高度医療を担いながら、総合内科医としての修練を積み、内科全般の診療経験も豊かです。また、本診療科及び造血細胞移植センターは、薬剤師、検査技師など様々なスタッフや他診療科と緊密に連携し、チーム医療を実践しています。本診療科の患者さんは、長期間入院することが多く、ご家族や看護師など医療スタッフを含めたチームとしての連帯感が生まれ、医師としての達成感が得られやすい診療科と言えます。私たちは、患者さんの声に耳を傾け、心に寄り添い、より信頼される診療科であるよう、これからも真摯に取り組んで参ります。



多職種連携造血幹細胞移植 カンファレンスの様子

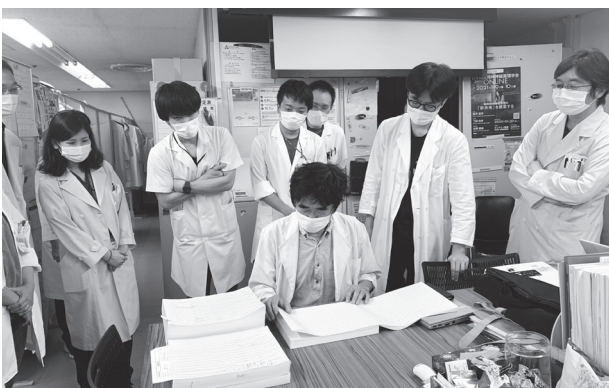
日々の積み重ね，立ち止まり，継続の重要性

精神科学講座・教授 兼本 浩祐

【医学教育のグローバルスタンダードを目指して】

グローバルスタンダードとは，取り立てて特殊な勉強をすることや，どこか遠い国に留学することをどうしても必要とするものではない。少なくとも臨床研究においては，日々の臨床を積み重ね，症例を蓄積し，自分が担当した症例に対して疑問に思った点を文献で検索し，それでも分からないところは専門家に尋ね，その繰り返しをひたすら継続していけば，現在の日本の状況であればほとんどの分野でグローバルスタンダードに到達するのは間違いない。大事なのは事例を積み重ねることと，一事例ごとに可能な限り丁寧に立ち止まり，自分ができるベストを尽くすことで，その繰り返しの中で，文献検索や国内での専門家への質問で足りないところがもし自覚されれば，海外の専門家との交流はその時に初めて飛躍をもたらす可能性があると思われる。

現在，当診療科における精神科的疾患の急性期の診断・治療については，グローバルスタンダードと比べ，特に遜色はないと考えている。しかしながら，作業療法や訪問医療など精神科の慢性期治療に極めて重要な治療資源においては欠けている部分があり，他の医療施設や福祉施設とのコラボによってこれを補っている状況である。



脳波検討会

【世界に発信する医学研究】

てんかんの精神医学的研究については，例年，英文論文を複数発表しており，また，これまでに，中国，インド，台湾，韓国，イランなどアジアの諸国で教育講演を行い，国際てんかん連盟の精神科部門の役員を務めるなど，世界に向けて研究・教育活動を行っている。本学の主催にて，心因性非てんかん性発作（USA，イギリス，韓国，中国，ニュージーランド，グルジア）（長崎），てんかんにおける抑うつ状態（中国，USA，台湾，フランス，韓国）（名古屋）の国際シンポジウムを行い，また，東京でてんかんの精神科的側面の国際シンポジウム（イギリス，USA，ウガンダ，グルジア，韓国，オーストラリア）も主催した。てんかんの精神医学的側面についての教科書への寄稿も依頼され，多数を行っている。

【講座からの一言】

日本の現状は，臨床的に事例を丁寧に積み重ねていけば，グローバルスタンダードに達するポテンシャルのある状態だと考える。世界に向けての発信は，地道に丁寧に臨床を積み重ねていけば後は，やる気だけの状態のように，少なくとも精神科においてはそう思われる。



症例発表の様子

規 則

規則の制定・改廃情報をお知らせします。

「社会連携推進室事務分掌について」 の裁定等

法人本部に社会連携推進室を設置するため、次の関係規則が整備されました。

施行日はいずれも令和2年4月1日

【新規制定】

- ・社会連携推進室事務分掌について（法人本部長・事務局長裁定）

【一部改正】

- ・学校法人愛知医科大学事務組織規程
- ・資金・出納室事務分掌について（法人本部長・事務局長裁定）
- ・学校法人愛知医科大学文書規程
- ・学校法人愛知医科大学事務決裁規程
- ・学校法人愛知医科大学エネルギーの使用の合理化に関する規程
- ・学校法人愛知医科大学消防計画

医学部修学資金貸与規程の一部改正

愛知医科大学医学部修学資金貸与規程の一部が改正され、本院以外で行った専門医研修及び臨床研修の期間も返還債務免除に必要な勤務期間に含めることができるようになりました。

施行日は令和2年8月1日

大学院学則の一部改正等

愛知医科大学大学院医学研究科における休学に伴う学納金減免制度を整備するため、次の関係規則が整備されました。

施行日はいずれも令和3年4月1日

【一部改正】

- ・愛知医科大学大学院学則
- ・愛知医科大学大学院医学研究科学生の学納金の減免について（理事長裁定）
- ・大学院授業料の免除について（理事長裁定）

看護職員奨学金貸与規程の制定等

本院に在籍している看護職員で、所定の研修等を受講し、それに引き続き本院での業務に従事する者に対して奨学金を貸与するため、次の関係規則が整備されました。

施行日はいずれも令和2年4月1日

【新規制定】

- ・愛知医科大学病院看護職員奨学金貸与規程

【廃止】

- ・愛知医科大学大学院学生奨学金貸与規程